

150周年 記念行事新聞

令和4年11月22日 第3号

令和4年11月18日（金）、**創立百150周年記念式典**を開催しました。

大分市長 佐藤樹一郎様、大分市教育委員会教育長 佐藤光好様、大分市議会議員 牧貴宏様をはじめ、歴代校長先生方、原川中、桃園小の校長先生、地域関係者等をご来賓にお迎えしました。新型コロナウイルス感染症対策として、5、6年生及び保護者は体育館で、他の学年はZoomにて各教室にて視聴する形をとりました。

あいさつや祝辞が続きましたが、5、6年生は堂々とした態度で式典に臨むことができました。児童会長 澤井美空さんの堂々としたあいさつが素晴らしかったです。

式典の第2部は、全校児童による発表です。1～4年生の発表は、事前に撮影していたものを、スクリーンで流しました。5、6年生は、体育館で発表です。どの学年も実態に応じた素晴らしい発表ができました。コロナ禍で、思うように練習ができなかったと思いますが、その中で最善を尽くして発表した全校児童は、素晴らしいの一言でした。会場にいたご来賓の方や、実行委員の皆さん全員が、素晴らしい発表を見ることができた喜んでいただきました。150年間を引き継ぎ、次の150年へ向けて、新たな出発となった区切りの式典ができたと思います。式典が終わって、全校で「お祝い給食」をいただきました。



小野実行委員長の挨拶です（左）。佐藤大分市長もお祝いに駆けつけてくださいました（右）。



さすが、5、6年生です。挨拶が続きましたが、この立派な姿勢で、しっかりと話を聞くことができました。



児童会長 澤井美空さんのあいさつは、参加者全員、心を打たれました（左）。1～4年生は、ビデオによる発表です（右）。



5年生、6年生は、会場での発表です。少ない練習の中、最大限の力を発揮して発表しました。子どもの声、演技は、心に響きます。ありがとう。

午後からは、**記念講演会**を実施しました。講師は、関崎海星館の川田政昭館長です。宇宙空間から銀河系、太陽系、地球、日本、大分県、大分市、日岡と「宇宙」の時間的、空間的壮大さを伝えてくれました。また人間の心には、宇宙同様の空間があり、常に夢を持ち続けてほしい、そのために「得意を続けること」が大切とも伝えてくれました。

また、日岡小ができた150年前に出発した光が、今地球に届いている星（ヒアデス星団）があることなど、宇宙の魅力をたっぷりと紹介してくれました。

その後、全校児童が運動場に出て、クラスごとに夢をかいた短冊を積みこんだ「12基のクラスロケット」を見事に飛ばすことができました。川田館長、さらには職員の西山さん、清水さん、本当にありがとうございました。子どもたちにとって素晴らしい思い出ができました。*天体望遠鏡も関崎海星館の職員及び有志の方よりいただきました。感謝です。



夢を持つこと、そのために「得意を続けること」。宇宙空間同様、人間の心は無限大に広がっています。



この地球から飛び立つことができるか。大分空港も宇宙港に。右は、海星館職員手作りのクラスロケットです。12基打ち上げることができるでしょうか。



クラス代表が、打ち上げのスイッチを押します（左）。全校児童のカウントダウンで、12基のロケットが一斉に打ちあがりました。まさに夢を乗せて。